

整理番号 2022M-101

補助事業名 2022年度 国際工作機械技術者会議の開催 補助事業

補助事業者名 一般社団法人日本工作機械工業会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

最先端の生産加工・工作機械に関する研究開発成果を明らかにし、持続可能性社会やデジタル社会を考慮した次世代のものづくりのあり方とその実現に必要な工作機械について、製造業に従事する様々な技術者に情報を提供することで、新たな技術創出の懸け橋となり、工作機械産業ひいては製造業全体のブレークスルーを図る。

(2) 実施内容

①IMEC2022 第19回国際工作機械技術者会議

(URL) <https://www.jmtba.or.jp/wp-content/uploads/IMEC2022.pdf>

2022年11月10日・11日の2日間に亘り、東京ビッグサイト会議棟 国際会議場においてIMEC2022（第19回国際工作機械技術者会議）オーラルセッションを、11月8日～13日まで、東京ビッグサイト 東7ホールにおいてポスターセッションをそれぞれ開催した。

オーラルセッションでは2日間に渡り計15講演が行い、工作機械メーカーのみならず、関連要素メーカー、ユーザ、大学・公的研究機関より延べ247名の参加を得た。また、ポスターセッションにおいては、工作機械・生産加工技術に関する51テーマの研究成果が発表される等、いずれも活発な技術交流を行うことができた。

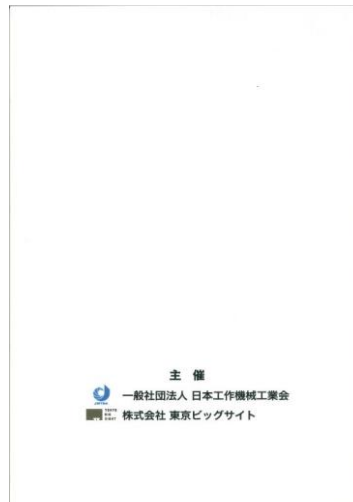
2 予想される事業実施効果

ものづくり立国である日本が、製造業全体の高度化と国際競争力の強化を図る上で、イノベーションを基軸として社会の多様なニーズにこたえていく必要がある。気候変動問題が待たなしの状況となり、製造業においてもカーボンニュートラルへの対応を迫られていることや、コロナ禍を通じてデジタル化・DXの波が一挙に押し寄せ、新たな競争軸への対応が急務とされる中、今回の会議では「大変革時代への挑戦—デジタル技術が拓くものづくり」を総合テーマとして開催し、GX・DXに関する俯瞰的な考え方や具体的事例のほか、新しい加工方法として注目されるAdditive Manufacturing技術、工作機械の更なる高精度化に寄与する基盤技術等を取り上げ、世界をリードするための先進的研究開発のあるべき姿を検証する重要な機会となった。

3 補助事業に係る成果物

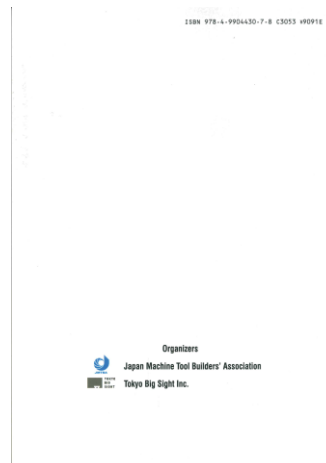
(1) IMEC2022 第19回国際工作機械技術者会議 大変革時代への挑戦—デジタル技術が拓くものづくり 論文集 (日本語版)

(URL) 無



・ IMEC2022 The 19th International Machine Tool Engineers' Conference (IMEC2022) "Challenge for the new era – Monozukuri revolutionized by digital technology" Proceedings

(URL) 無



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
工作機械（機関誌）

(URL) <https://www.jmtba.or.jp/wp-content/uploads/IMEC2022.pdf>



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人日本工作機械工業会

(イッパンシャダンハウジンニホンコウサクキカイコウギョウカイ)

住 所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館

代 表 者： 会長 稲葉 善治 (イナバ ヨシハル)

担当部署： 技術部 (ギジュツブ)

担当者名： 笹川 哲平 (ササガワ テツペイ)

電話番号： 03-3434-3961

F A X： 03-3434-3763

E-mail： sasagawa@jmtba.or.jp

U R L： <https://www.jmtba.or.jp/>